

(1) アンケート調査結果の概要

【調査時期】平成28年 8月～9月

【調査対象】平成25年度に元気づくり支援金を活用して事業を実施した公共的団体のうち、事業終了時点での第三者評価が高かった団体を対象に実施

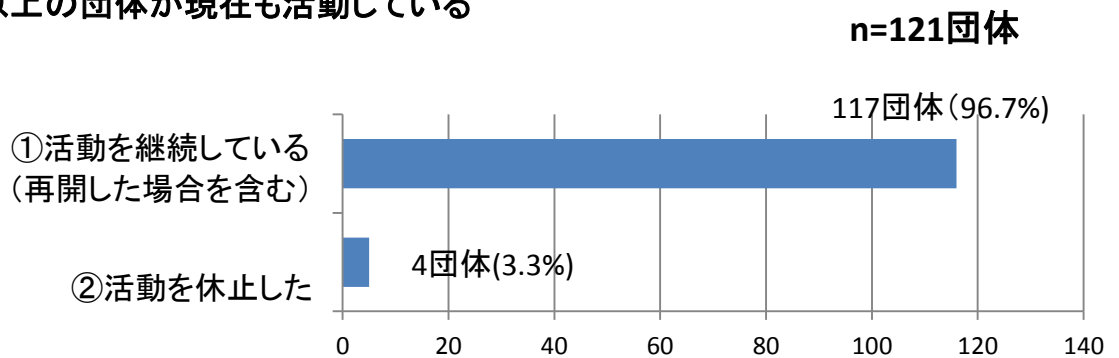
【回収状況】回答数 121 (送付数:142 (回答率 85.2%))

【調査方法】郵送又は電子メール、記名方式

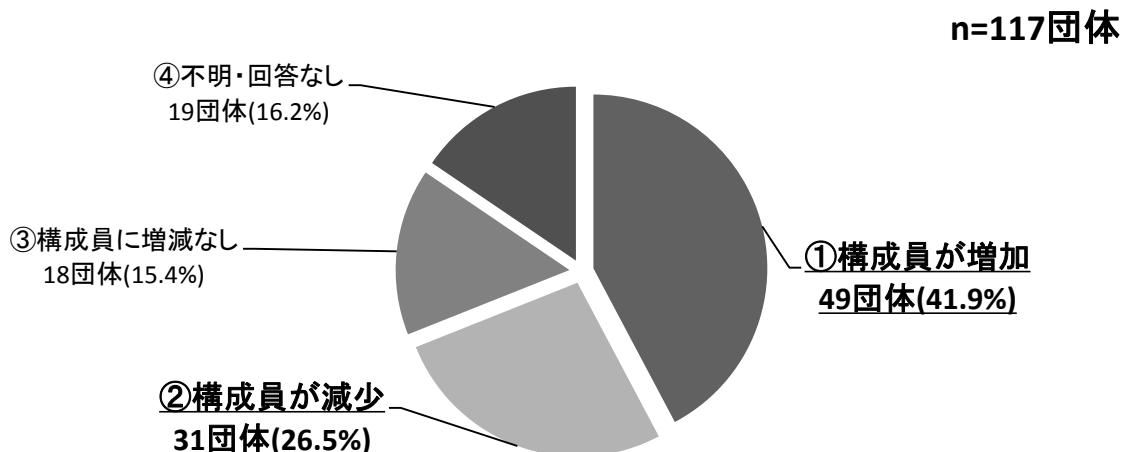
【調査内容】(1)支援金活用事業の効果について
(2)団体の現在の活動状況について

団体の現在の活動状況について

■ 95%以上の団体が現在も活動している



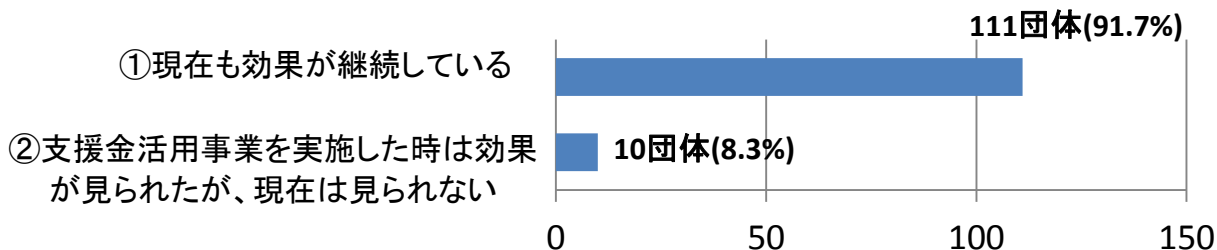
■ 活動を継続している団体の4割以上で、構成員が増加している。一方で、約25%の団体では構成員が減少している



支援金活用事業の効果について

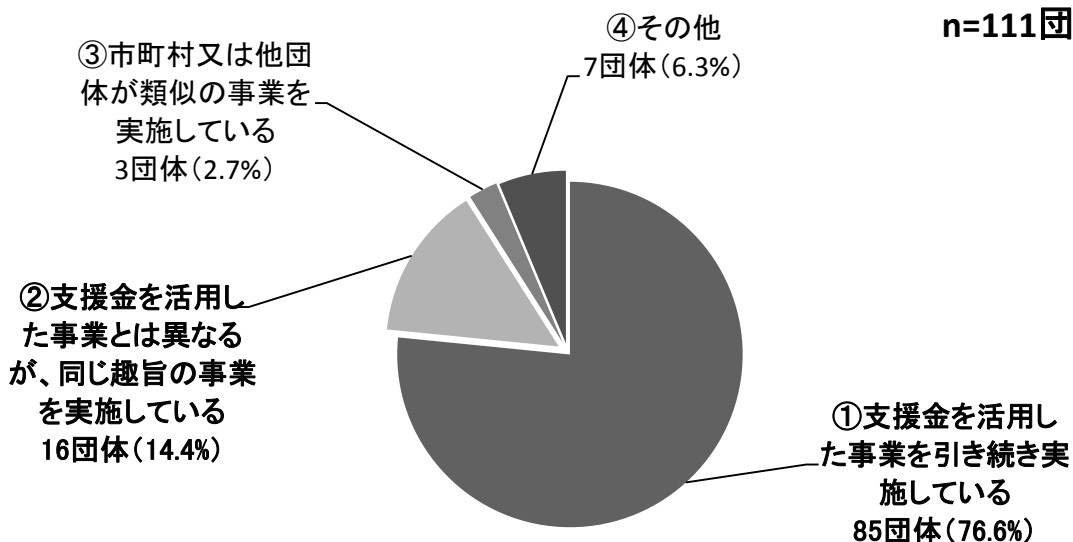
■ 9割以上の団体が事業の効果が続いていると回答

n=121団体



■ 効果が継続していると回答した団体の9割以上が、支援金活用時と同じ(又は同じ趣旨の)事業を実施している

n=111団体



■ 活動を継続していく上で、最も必要なものは「資金」と「人材」の確保で合わせて約8割となっている

n=117団体

